

# 札幌市の路線バスに『外国人運転手』導入へ 市と事業者が協定

25.03.26

株式会社じょうてつ(高木 克典・代表取締役社長)および株式会社北海道アルバイト情報社(村井 俊朗・代表取締役社長)と「路線バス運転手の外国人材受入れに関する連携協定」を締結しました。

札幌市をはじめ全国で人手不足が社会課題となっており、バス業界では運転手不足によるバス路線の廃止や減便の事例が発生しております。このような状況を受けて、昨年、外国人労働者の在留資格「特定技能」にバス運転手が新たに追加されました。



本連携協定により、3者が連携しながら日本語学校の留学生への支援や市民の皆さまに向けた相互理解醸成の取り組みなど、路線バス運転手への外国人労働者の受け入れ体制整備に向けたモデル事業を行います。

# 札幌市『特定技能外国人受入費用補助』 6/23セミナー開催

25.05.21

SAPPORO 札幌市「令和7年度外国人受入・定着支援事業」

## 特定技能外国人 受入費用補助

人手不足解消に  
特定技能外国人という選択肢を。

外国人材のご紹介  
90名限定

特定技能外国人の採用費用が  
通常半額程度でご利用できます

本事業は、札幌市内にある中小企業の外国人材採用・定着促進を目的とし、特定技能外国人材の受入費用・定着支援費用を補助いたします。

2025年6月23日(月)には【特定技能制度の解説】や【本事業のご説明】を行う「特定技能外国人受入セミナー」を開催いたします。

出典

: <https://www.zaikaisapporo.co.jp/cbn/cbn-article.php?id=432>

# 増え始めた『特定技能 2号』の外国人材 家族の生活支援課題

25.06.10

外国人材の日本での永住や家族帯同に道を開く「特定技能2号」の対象範囲が農業や宿泊業など多くの分野に広げられてから2年。合格率が低く「2号は狭き門」といったイメージがあったものの、その後、当初の認識を覆す勢いで道内の合格者が増えています。そうすると、「2号」となった人が配偶者や子供を呼び寄せた場合、家族らの暮らしをどう支えるか-という問題が出てきます。ともすれば日本社会で孤立しかねず、無関心ではられません。



黙々と作業するチャンさん。一緒に暮らす同僚の試験勉強を手伝うこともあるという

所定の手続きを経て「2号」に資格変更すれば、5年しか居られない「1号」と違い、本人が望むだけ在留期間を更新でき、家族とも同居できます。そうすると、考えなければならないのが、呼び寄せた配偶者や子供に日本の社会にどう溶け込んでもらうかということです。「2号」は、「1号」のように登録支援機関によるサポートが法的に義務付けられてはいません。けれども、家族の多くは日本語がうまく話せず、何らかの配慮が欠かせないのです。

出典

: <https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1168571/>

# 宗谷国際人材交流協同組合 枝幸地区で技能実習評価試験(紋別市)

25.06.18

宗谷国際人材交流協同組合が実習生の評価試験を実施しました。枝幸地区の実習生が紋別市に集まり筆記と実技に臨みました。作業手順や安全意識の到達度を客観的に確認しました。監督者からは日頃の訓練の成果が見えるとの評価がありました。結果は課題の洗い出しと次の学習計画づくりに活用されます。

企業側も育成状況を共有し配置や指導の改善に役立っています。適正な評価は品質と労働安全の向上に直結します。地域が連携して人材育成を支える好例といえます。実習生の自信と定着意欲の向上にもつながりました。



# 北海道『外国人材活躍促進事業』を公開

25.06.19

当事業では、北海道内の人手不足産業分野における外国人材の受入・定着促進のため、外国人材の採用に関するセミナーやマッチングイベントを実施いたします。

## ◆企業向けセミナー・座談会

外国人材採用時に留意すべき在留資格等の基礎知識から採用後の定着に至るまでのアドバイスをを行います。セミナー後の座談会では、外国人材の採用・定着に関する専門家に相談も可能です。

## ◆外国人材と企業の交流座談会

本格的な採用・就職活動前に企業と外国人材が近い距離で交流し、相互理解を深めることができます。

## ◆合同企業面談会

対面・オンラインで実施する採用直結の合同企業面談会で、当会で出会った外国人材を実際に採用いただけます。少人数制のため外国人材とじっくりお話しいただくことが可能です。

## ◆外国人材の企業見学会

実際に職場見学を行い、外国人材に対して具体的な就労イメージを持っていただきます。

出典

: <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tsk/176511.html>

# 北海道で働く外国人が最多更新 初の4万人超え、 全国2位の伸び率に

2025.01.31

北海道内で働く外国人が2024年10月末時点で4万3881人と3年続けて過去最多を更新し、初めて4万人を超えた。この1年間の伸び率は23.8%増と全国2位で、国籍別では前年に続きベトナムからが最も多かった。北海道労働局が31日、発表した。人口減が進むなか、多くの職場で存在感が増している。地元自治体をはじめとした地域の受け入れ態勢の充実を求める声も出ている。

北海道で働く外国人 北海道労働局まとめ。  
各年の人数は10月末時点



北海道で働く外国人

出典：

<https://www.asahi.com/articles/AST102TN4T10IPE00HM.html>

# 北海道の美しい自然を満喫！技能実習生向けJR根室線日帰り旅行プラン

2025.8.12

JR北海道は、技能実習生の方々を対象に、根室線（滝川～富良野間）の利用促進事業を実施します。令和7年8月1日～10月13日の期間、JR北海道の「ラベンダーフリーパス」を購入すると、対象路線のバスが無料で利用でき、沿線の温泉施設にも無料で入浴できます！（タオル付き）ラベンダーフリーパスは滝川駅と富良野駅のみどりの窓口で購入可能です。



# ホテルの清掃業務の技競うコンテスト 優勝はカンボジアの技能実習生チーム

2025.10.16



華やかなホテル業界を裏方として支える清掃スタッフ。普段、表には出てきませんが、主役としてその技術を披露しました。16日、北海道のルスツリゾートで開かれた「ハウスキーピングコンテスト」。客室の清掃技術を競います。審査は普段の仕事と同じ2人一組のバディ制。ベッドメイクをはじめ、スピーディーな清掃には2人のコンビネーションがカギとなります。室内に忘れ物のアクセサリが仕込まれるなど、競技は実戦さながら。

高得点を狙うには、正確性やスピードに加え、細かい目配りも欠かせません

# 北海道は外国人の第2の故郷になれるのか 技能実習生ら6万人超え 共生する社会の実現は？

2025.01.01

北海道で外国人が増加の一途をたどっている。人手不足を背景に食品製造業や建設業など幅広い分野で主に技能実習生を受け入れ、昨年夏に初めて6万人を超え、今年も過去最多を更新する見通しだ。技能実習制度は待遇の悪さなどから人権侵害の温床と批判され、国は新制度「育成就労」を創設。2027年度の制度開始に向けた運用の検討が今年、本格化する。国際社会で人材獲得競争が激化する中、道内も外国人との共生に向けた具体策が求められている。住民基本台帳によると、24年1月1日時点の道内の日本人は503万9100人で、10年間で40万1979人減少。生産年齢人口（15～64歳）は285万8828人で、48万6500人減少した。



朝日新聞

働く外国人に選ばれる北海道になる...

# 初めてのスキー、エンジョイ！ 厚生院の技能実習生

2025.02.28

函館厚生院（高田竹人理事長）の高齢者施設で学ぶインドネシア人の技能実習生が25日、グリーンピア大沼スキー場（森町赤井川）でスキーやスノーボードを体験した。母国では雪が降らず、来日1年目の実習生は冬のスポーツをするのは初めて。歓声を上げながら、思う存分満喫した。同法人は2020年からインドネシア人の技能実習生を受け入れている。スキー体験は3年目。百楽園（函館市高丘町）とケンゆのかわ（湯川町）、永楽荘（高丘町）、ももハウス（赤川町）、ななえ新病院（七飯町本町）で介護を学ぶ16人が参加した。



スキーやスノーボードを楽しんだ技能実習生

# 流氷、待ち遠しく 紋別・技能実習生ら招待 「ガリンコ号」 運航開始 / 北海道

2025.01.18

紋別市の流氷砕氷船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」の今季の運航が17日、始まった。初便は安全祈願祭に出席する来賓や招待された市内で働く外国人技能実習生らが乗船、45分間の運航を楽しみながら、到着がまだ先の流氷を心待ちにしていた。この日は、貸し切り便のほかに3便が運航され、合わせて300人余りが乗船した。紋別港から約5キロを折り返し…



ガリンコ号の今季初便の運航を楽しむ外国人技能実習生ら = 北海道紋別市で2025年1月17日、本多竹志撮影

出典：

<https://mainichi.jp/articles/20250118/dtl/k01/040/052000c>

# 北海道建設新聞に掲載されました

2025.11.17

11月17日の北海道建設新聞に特定技能1号のグエンゴック ニャットさんがインタビューされた記事が掲載されました！札幌市内の建設分野ではまだ3名しか合格していない特定技能2号評価試験に合格しております。

言語の壁を越え、上昇志向を高くもつニャットさんや他の14名の技能実習生の活躍の場をもっと

広げられるよう、当社もより精進してまいります。また、弊社の関連会社でありますプロテックス協同組合ではニャットさんをはじめとするベトナムなどの技能実習生の監理団体として受け入れを検討している企業様のサポート等も行っております。

興味のある企業様は是非お問い合わせください。

出典：<https://hokusei-const.net>

北星建設(本社・札幌市白石区)に8年間勤めているベトナム人のグエン・ゴック・ニャットさん(右)が、10月実施の特定技能2号評価試験に合格した。札幌市内の建設分野では10月末時点で取得者1人とまだ少数の在留資格。在留期間の制限がなく、家族の帯同も可能なだけに「日本でもっと頑張りたい」と意気込む。

ベトナム中部にあるハティン省の農家出身。3人きょうの長男で、高校卒業後は農園の手入れや製菓や炊飯屋に就いていた。日本で技能実習生が活躍しているのを知り、2017年11月、同社にベトナム人技能実習生の1名として入った。

来日直後は日本語が分からず苦労したが、日本人社員と積極的にコミュニケーションを取り、周囲の日本人も積極的に熱心なサポートを受けている。

「日本でもっと頑張りたい」

在留期間上限なく、家族帯同も可能に

定額へ同水準

「日本の建設業に人生を送りたい」と、ニャットさん(右)と、同社社長(左)。

# 技能実習生とスポンジテニス 釧路の事業者が企画、地域住民と交流深める

2025.10.29



スポンジテニスなどで交流を深めた外国人技能実習生と実行委のメンバーら

釧路市で暮らす外国人技能実習生への理解を深める催しが、市緑ヶ岡3のサンライフ釧路で開かれた。インドネシアから来釧した16人がスポンジテニスやバーベキューを通じて市民と交流を深めた

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1231133/>

# 外国人実習生が交流会 羽幌

2025.08.13

はぼろサンセットビーチにて「第6回外国人技能実習生・特定技能大交流会」（主催：北るもい漁業協同組合）が開催されました。ビーチには、インドネシアからの技能実習生、特定技能者の皆さんをはじめ、実習実施者や来賓の方々など、総勢125名が集まり、会場は活気と熱気に満ち溢れていました🔥 交流会では、綱引きや玉入れ、全員リレーといったチームゲームで大盛り上がり！



ゲームの後は、懇親会が開かれ、海と青空を堪能しながら、さらに親睦を深めていました



# 箏や和太鼓 雄武で国際交流 外国人実習生らと 親睦深める

2025.12.22

北海道内で働く外国人が2024年10月末時点で4万3881人と3年続けて過去最多を更新し、初めて4万人を超えた。この1年間の伸び率は23.8%増と全国2位で、国籍別では前年に続きベトナムからが最も多かった。北海道労働局が31日、発表した。人口減が進むなか、多くの職場で存在感が増している。地元自治体をはじめとした地域の受け入れ態勢の充実を求める声も出ている。



# インドネシア国籍の技能実習生の男が同国籍の知人が働く会社の社員宿舎で防犯カメラを盗む姿... 別のカメラが捉える

2025.10.20

北海道苫前町の水産加工会社の社員宿舎から防犯カメラを盗んだとして、インドネシア国籍の男が逮捕されました。窃盗の疑いで逮捕されたのは、インドネシア国籍の29歳の男で、被害にあった会社とは別の水産加工会社で技能実習生として働いていました。男は10月16日、苫前町にある水産加工会社の社員宿舎から、防犯カメラ1台（時価約1500円相当）を盗んだ疑いが持たれています。



インドネシア国籍の技能実習生の男を逮捕した北海道警羽幌署

# 「日本語分からないならベトナム帰れ」外国人労働者巡るトラブルも...

2025.12.26

急速な人口減少とともに、国内の人材不足が進んでいる。それを補う外国人労働者の数も増え続け、2024年に230万人を超えた。フジテレビが主要ゼネコン15社にアンケートしたところ、ほぼすべての会社が人材不足を理由に外国人材が「必要」などと回答。「将来的には外国人材が重要な役割を担うことも避けられない」といった、深刻な人材不足の実態が浮かび上がった。取材をすると、撮影されたのは北海道の建設現場で、2人はいずれもこの現場で働く作業員であったことが判明。2人は昼休み中のスマホ使用の「マナー」を巡ってトラブルになり、暴力沙汰になったことが分かった。ベトナム人男性は、胸の骨が折れたという。建設現場では、日本人も外国人も、複数の会社に所属する作業員が出入りする。言葉や文化の壁がある中、どうすれば、日本人と外国人が安心して共に働くことができるのか

